

平成 30 年 6 月 18 日

NDEC-3 実行委員長 東京大学 岡本孝司

第3回次世代イニシアティブ廃炉技術カンファレンス(NDEC-3)の実施報告

文部科学省の委託事業である「廃止措置研究・人材育成等強化プログラム」に採択された7機関(東京大学、東京工業大学、東北大学、福島大学、福島工業高等専門学校、福井大学、地盤工学会)は、今後の原子炉廃止措置を担う若手技術者や研究者の育成に取り組むため、実行委員会を構成し、人材育成を目的とした学生のための「次世代イニシアティブ廃炉技術カンファレンス(NDEC: Conference for R&D Initiative on Nuclear Decommissioning Technology by the Next Generation)」を開催・運営している。

第1回 NDEC-1 を平成 28 年 3 月 16 日に東北大学青葉山キャンパスで、第2回 NDEC-2 を平成 29 年 3 月 2 日に東京工業大学大岡山キャンパスで開催し、引き続いて第3回 NDEC-3 を以下のように開催した。

記

1. 件名: 第3回次世代イニシアティブ廃炉技術カンファレンス(NDEC-3)
2. 日時: 平成 30 年 3 月 19 日(月)9:20~17:30
3. 場所: 富岡町文化交流センター学びの森(福島県双葉郡富岡町)
4. 共催: 文部科学省、東京大学、東京工業大学、東北大学、福島大学、福島工業高等専門学校、福井大学、地盤工学会、原子力安全研究協会、福島県富岡町
後援: 日本原子力学会、原子力損害賠償・廃炉等支援機構、日本原子力研究開発機構、国際廃炉研究開発機構、福島県教育委員会

5. 実施概要

(1)プログラム

①ご挨拶及び基調講演(大ホール)

9:20 - 9:25 開会挨拶 岡本 孝司(東京大学 教授)

9:25 - 9:30 文部科学省挨拶 嶋崎 政一(文部科学省 廃炉技術開発企画官)

9:30 - 9:50 基調講演「新たな段階に進む 1F 廃炉」 山名 元(文部科学省廃止措置研究・人材育成等強化プログラム プログラムディレクター)

②学生発表

10:00 - 12:25 オーラルセッション(第1~第3会議室)

12:25 - 13:10 昼食

13:10 - 14:50 ・ポスターセッション(2 階広場)

・高校生対象のロボットプログラミング研修(創作室)

③特別講演（大ホール）

15:00-15:30 特別講演 1 JAEA における福島第一原子力発電所廃炉に向けた取組 野田 耕一
（日本原子力研究開発機構 理事）

15:30-16:00 特別講演 2 福島第一原子力発電所における廃炉・汚染水対策の現状と今後の課
松本純一（東京電力ホールディングス 福島第一廃炉推進カンパニー廃炉推進室長）

④表彰式・交流会（1 階ふれあい広場：16:10-17:30）

宮本皓一 富岡町長ご挨拶 他

(2)参加人数

a. 全体参加者 242 名

高校生 20 高専生 13 学部生 13 大学院生 40 教職員 38 民間企業 64

官公庁・独法・団体 52 報道機関 2 :合計 242

b. 学生発表

オーラルセッション 25 件 ポスター発表 37 件 合計 62 件

c. 企業等ポスター 14 件

(3)表彰

<オーラルセッション>

① 最優秀フロンティアスピリット賞

墨田岳大（東京工業大学）「メタル系溶融コリウムによる炉心構造物破損形態の解明」

② 研究奨励賞

a. 廃止措置・設備管理に関する研究部門

志藤暢哉（東北大学）「900°Cまでの熱履歴を受けたセメント硬化体の塩化物イオン移動抵抗性」

b. 燃料デブリ・放射性廃棄物に関する研究部門

墨田岳大（東京工業大学）「メタル系溶融コリウムによる炉心構造物破損形態の解明」

c. ロボット・遠隔技術に関する研究部門

藤田政宏（東北大学）「廃炉作業における多種多様な不定形・軟脆弱物の把持を可能とする柔
剛切替なじみグリッパ機構」

d. 核種分析に関する研究部門

野上光博（東北大学）「TIBr 放射線検出器の高線量場適用への検討」

<ポスターセッション>

① 最優秀ポスター部門賞

大澤紀久（東北大学）「高温履歴を受けたコンクリートの塩化物イオン浸透挙動」

② 研究奨励賞

a. 設備管理に関する研究部門

館和希（東北大学）「ステンレス鋼のすきま腐食進展におけるマクロセル電流の寄与に関する

研究」

b. 廃止措置に関する研究部門

大澤紀久(東北大学)「高温履歴を受けたコンクリートの塩化物イオン浸透挙動」

c. ロボット・遠隔技術に関する研究部門

田中水輝(神戸大学)「頭部運動を伴った遠隔操縦における一体感実現のための視覚提示許容誤差の推定」

d. 燃料デブリ・放射性廃棄物・核種分析に関する研究部門

渡部志保(大阪大学)「燃料デブリ中のプルトニウム・ガドリニウムの化学形態」

